

牛久：学校周辺に見る自然

第15号 ひたち野うしく小学校

2018年5月25日発行

＜ 晩春のみずべ公園 ～③その他の植物（樹木） ＞

ひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回は、①②以外で花や実が見られた木の仲間。

花ではありませんが、観察はクサギの葉のにおいを嗅ぐところからスタートしました。葉を軽くもんでにおいを嗅ぐと、「何かいいにおい。」「ポテトチップスみたい。」「ピーナッツ。」「えーっ、変なに



おい。」と、次々と感想の声が出ました。いいにおいと感じたか嫌なにおいと感じたか聞いてみると、クラスにより差はありましたが、全体では半々くらいでしたね。同じことを大人に聞くと、大部分の人が「嫌なにおい」と答えます。においの感じ方は年齢によってもちがい、また同じ年齢でも一人一人ちがうのですね。ちなみに、永遠の少年である私は、いいにおいと思っています。

←クサギの葉のにおいを嗅ぐ。どんなにおいだった？



街路樹でもよく見られるヤマボウシ(左上)。 庭などに植えられるハクチョウゲ(右上)。

とげに注意、ナワシロイチゴ(左下)。 秋に赤い実が目だつが、花は目だたないゴンズイ(右下)。

エゴノキ、ハコネウツギのほかで咲いていたのは、ヤマボウシとハクチョウゲ、ナワシロイチゴ、ゴンズイ、サツキなどでした。ヤマボウシは、警察署前の通りなど街路樹でもよく見かけます。校庭のハナミズキと近い仲間ですが、白い大きな花びらのようなのは、じつは花ではありません。まん中の小さな花の集まりをよく観察しましょう。ゴンズイは秋に赤い実が目立ちますが、花は目立ちません。



よく似ている、イヌザクラ(左)とウワミズザクラ(右)。さて、どこがちがうかな？

一方で、花が終わり、まだ緑色の若い実が大きく成長を始めた木もありました。イヌザクラ、ウワミズザクラ、イヌシデ、アカシデなどです。イヌザクラとウワミズザクラはよく似ていますが、何度か紹介しています(25年第7号など)。どこがちがうか、これもよく観察してみましょう。



実が色づいてきたオオカンザクラ(左)とヤマザクラ(右)。さて、どこがちがうかな？

もっと早くに咲いていたオオカンザクラとヤマザクラは、すでに実が赤く色づき始めていました。緑から黄色、赤、黒と熟していきます。



まっ赤に熟したウグイスカグラ(左)と、タネを飛ばすアカメヤナギ(右:柳絮(りゅうじょ)という)。

すでに、おいしそうにまっ赤に熟した、ウグイスカグラの実もを見つけました。花言葉は、「明日への希望」「未来を見つめる」だそうです。

池のまわりの通路を歩いていると、白い綿毛がふわふわと飛んでいました。「タンポポ？」ではない。「チガヤ？」でもない。アカメヤナギでした。白い綿毛をもったヤナギ類のタネが雪のように飛び漂うのを柳絮(りゅうじょ)とよぶそうです。

【理科支援員：宮内】